日本発行の科学技術雑誌の調査

(1)電子ジャーナル化の状況

Study on scholarly journals published in Japan

(1)Number of electronic journal titles

時実 象一¹

TOKIZANE Soichi¹

1 愛知大学 (〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1) E-mail : Tokizane@aichi-u.ac.jp
1 Aichi University (1-1 Machihata-cho Toyohashi-shi, Aichi 441-8522)

原稿受理 (2008-07-16)

(情報管理 51(8):571-579)

目次

1. はじめに
2. 調査方法と結果
 - 2.1 雑誌リストの収集
 - 2.2 統合雑誌リストの作成
 - 2.3 科学技術医学系学術雑誌の同定
3. 電子ジャーナル化の状況
(以下後編)
4. データベースへの収録状況
 - 4.1 国内文献データベースの収録状況
 - 4.2 海外文献データベースの収録状況
5. まとめ
6. おわりに

1. はじめに

学術雑誌数の変遷についてのこれまでの研究については倉田がまとめている¹⁾。最近ではTenopir²⁾は2003年のUlrichのデータ³⁾から、世界では18万200誌の逐次刊行物が発行されており、そのうち4万3,500誌が学術雑誌、2万1,000点が査読付き雑誌

であると報告している。さらに全点のうち3万4,500誌がオンライン、6,500誌がCD-ROMとなっているが、重複を除くと、電子化されている雑誌数は3万7,500誌になろうとしている。これを査読付き雑誌に限ると電子化されている学術雑誌数は1万4,600点、査読付き電子ジャーナルは1万1,000点と推定している。Ulrichの掲載雑誌数はその後も増加しており、2007年1月のオンライン雑誌数は4万7,000誌であり、そのうち2万4,300誌が学術雑誌とされている。また学術雑誌は2006年現在約2万3,000件が発行されており、年140万件の文献が公開されている⁴⁾との報告がある。ただしこれらの数字には中国や日本を含むアジアの雑誌がどの程度網羅されているかは明らかではない。中国の電子ジャーナル数については先に時実が報告しており⁵⁾、9,100誌を超える学術雑誌がすでに電子化されている。

わが国で刊行されている逐次刊行物については、国立国会図書館のNDL-OPACに収録されている点数が和雑誌新聞が約13万件、洋雑誌新聞が約5万件となっている(2007/12/1現在)⁶⁾。ただしこれ

らには発行を終了したり、名称が変更されたりしたのも含まれており、すべてが現在発行されているわけではない。同じく国立国会図書館が編集している『日本科学技術逐次刊行物総覧⁷⁾』では6,798件の科学技術関係の雑誌が収録されている(2007/3/4現在)が、このうち電子化されているものの数は明らかではない。

また、わが国で発行されている科学技術雑誌の記事は国内外の各種文献情報データベースに収録されているが、これらの収録状況についてはあまり報告がない。上田⁸⁾、Tenopir⁹⁾、原田¹⁰⁾は、主として公表された雑誌リストにより収録状況を報告しているが、これら雑誌リストにはすでに刊行を中止したり、名称が変更されたものも含まれており、数が水増しされている可能性がある。一方殿崎¹¹⁾は実際にPubMedデータベースを検索しており、より実態に近いデータといえる。またわが国の雑誌に限定されていないが各種データベース

の雑誌収録調査も行われている¹²⁾⁻¹⁵⁾。

本報告では、2005年時点でわが国において発行されている科学技術関係の雑誌の総数と、そのうち電子化されているものについて調査するとともに、国内外の各種文献情報データベースに収録されている数についても調査し、わが国での科学技術雑誌出版の現状を明らかにしようとするものである。この調査にはわが国の学会誌で海外出版社から出版されている雑誌も含まれる。なお本報告は筆者の口頭発表¹⁶⁾のデータをさらに詳しく調査・解析して更新したものである。なお本稿では「雑誌」の語を逐次刊行物(serials)と同等の意味で用いている。

2. 調査方法と結果

2.1 雑誌リストの収集

調査の対象となる雑誌リストを作成するに当たり、わが国の主要データベース作成機関にご協力いただき、2005年時点での日本発行雑誌の記事収録実績リストをExcelデータにて入手した。各リストは表1のとおりである。

これに加えて、データベース・サイトおよび電子

表1 データベース作成機関から直接入手した2005年の収録誌リスト

提供機関	誌数	対象データベース	収録対象
科学技術振興機構	6,387	JSTPlus	科学技術全般の世界の文献
		JMEDPlus	国内医学文献
医学中央雑誌刊行会	2,283	医学中央雑誌	国内医学文献
日本医薬情報センター	417	JAPIC	国内医薬文献

表2 Webから入手した国内データベースの収録誌リスト

提供機関	対象データベース	誌数	収集日	収録対象	URL
日外アソシエーツ	ジャーナルインデックス	27,498	2006/8/1	日本発行の各種雑誌(国立国会図書館収集の雑誌他)	http://www.nichigai.co.jp/database/jnl/top.html
科学技術振興機構(JST)	JSTPlus	21,200	*	日本および海外の科学技術関連逐次刊行物	http://pr.jst.go.jp/db/jstplus/
	JMEDPlus	10,000	*	日本発行の医学関連逐次刊行物	http://pr.jst.go.jp/db/jmedplus/
医学中央雑誌刊行会	医中誌データベース	5,000	*	国内の大学・学協会・研究所・病院等が発行している定期刊行物	http://www.jamas.gr.jp/scripts/serch.asp
国立情報学研究所(NII)	Citation Database for Japanese Papers (CJP) 書誌	1,628	2007/4/28	国内の自然科学分野の学術論文誌・学協会誌	http://ci.nii.ac.jp/cinii/pages/cinii-db.html

*これらについては各機関から直接入手したデータ(表1)を利用した。

表3 電子ジャーナル・サイト等から入手した雑誌リスト

提供機関	電子ジャーナル・サイト	誌数	収集日	収録対象	URL
国立情報学研究所	NII-ELS学協会誌	1,058	2007/4/28	国内の学協会が発行する学術雑誌	http://ci.nii.ac.jp/cinii/pages/cinii-db.html
国立情報学研究所	NII-ELS研究紀要	5,059	2006/9/17	国内の大学等が刊行する研究紀要	http://ci.nii.ac.jp/cinii/pages/cinii-db.html
科学技術振興機構	J-STAGE	387	2007/5/17	日本の学協会発行の電子ジャーナル	http://info.jstage.jst.go.jp/data/library/journals_list_ja.zip
国立国会図書館	WARP電子雑誌	1,527	2008/4/20	日本の電子ジャーナル(リンクのみ)	http://warp.ndl.go.jp/WABibSearch.php

ジャーナル・サイトの公開されている収録雑誌リストからも雑誌データを収集した。これらは表2, 3のとおりである。表2の誌数は、データベースの全期間にわたって収録されたすべての雑誌を対象としているので、表1の誌数とは異なっている。さらに海外データベース（CA, MEDLINE, Scisearch, Scopus）に収録されている雑誌でこれらリストに含まれていないものは随時追加した。特に国内学協会の英文誌で海外出版社から発行されているものは、これらリストから漏れていることが多かったので調査の上追加した。

2.2 統合雑誌リストの作成

これらのリストの雑誌レコードから統合雑誌リストを作成した。各リストのレコードの多くにはISSNが記載されていたので、まずこれによって統合を行った。しかしISSNが記載されていない刊行物も多数あり、これらのものについては誌名と発行機関により一致したものについて統合した。誌名の書き方にもばらつきがあり、また和文名・英文名が不統一に使われている場合もある。あいまいなものはNDL-OPAC¹⁷⁾の「一般資料の検索／申し込み」ページおよびNACSIS Webcat¹⁸⁾などによって確認した。その過程で新たにISSNが確認できたものもあるが、もともとISSNが付与されていない場合も多かった。

表4 雑誌の同定例

例	DB	DB のコード	誌名	ISSN
誌名が完全に一致しないもの	JST	X0203A	すい臓	0913-0071
	NIJ	AN10043798	脾臓	0913-0071
	CA		Suizo	0913-0071
同一誌の分冊なのに別々のレコードとなっている例(同一誌と見なす)	JST	G0520A	Japanese Journal of Applied Physics	0021-4922
		G0520B	Japanese Journal of Applied Physics. Part 1. Regular Papers, Short Notes & Review Papers	0021-4922
		F0599B	Japanese Journal of Applied Physics. Part 2. Letters	0021-4922
誌名が変わったのに同一ISSNを使っている例(別の雑誌と見なす)	JST	C0278A	Journal of Chromatography	0021-9673
		C0278B	Journal of Chromatography A	0021-9673

各リストには同一誌名（またはISSN）の雑誌が収録期間の違い、発行者の違い、分冊など区別により、別々のレコードとなっているものもある。これらのうちISSNが同一のものは1件の雑誌と見なした。また逆に途中で誌名が変更されたり、分割されたにもかかわらず、同一のISSNを使っている雑誌もあるが、これらは異なる雑誌として数えた。これらの調査は主としてNDL-OPACを用いた。これら分析の例を表4に示した。

これにより最終的に2万548件の雑誌リストが作成できた。各レコードはISSNがあるときはISSN（オンラインISSNの場合もある）をキーとし、ISSNがないときは独自のキーを付与した。またデータベース・電子ジャーナルの各リストのレコードにも同一のキーを付与し、このキーによって電子ジャーナル・サイト間、データベース間の重複を検出した。

表5 人文・社会科学系の分野

大分野	コード	分野
芸術	ART	美術
	MUS	音楽
	DRA	映画・演劇
人文科学	EDU	教育(科学技術系を除く)
	LAN	言語
	LIT	文学
	PHL	哲学・思想
	PSY	心理学(実験・臨床系を除く)
	REL	宗教
	CUL	文化・博物館(科学博物館を除く)
	LIB	図書館・文書館
	GEO	地理
	HIS	歴史・考古学
社会科学	SPT	スポーツ
	BUS	商学・ビジネス
	ECM	経済・政経
	LAW	法律・法政
	POL	政治学・行政・国際関係・地域学
	LBR	労働
	SOC	社会学・人間関係学・犯罪・統計
	WSV	福祉(保健福祉を除く)
	AGR	農業・漁業・林業(科学技術系を除く)

2.3 科学技術医学系学術雑誌の同定

このリストには人文社会芸術系の雑誌も多く含まれている。表5に示した分野名を雑誌名もしくは出版者名に含むものは、人文社会芸術系と見なした。雑誌名等から判明しない場合は雑誌のホームページなどで確認した。人文社会芸術系でないものは科学技術医学系と見なした。

次に雑誌の種別を表6の定義に従って、主として誌名と出版者名によって分類した。明らかでないものについては雑誌のホームページなどで確認した。一般に「論文誌」とは査読済み論文を掲載する雑誌との意味であるが、便宜上、原著論文があるものは「論文誌」と見なした。

論文誌を2つに分け、学協会から発行されている論文誌を通常の「論文誌」とした。ここでいう学会には研究会規模のものも含まれる。一方大学から発行されている雑誌については発行者が「学会」

図1 科学技術医学分野の雑誌種別分布

となっているもの（例えば「関西医科大学医学会」）のみ「大学等論文誌」と見なし、それ以外は付置研究所の雑誌も「紀要」とした。「大学等論文誌」には研究所などが発行する論文誌も含まれる。協会（業界団体）から発行されているものは、原著論文が含まれていることが確認できない場合は「一般雑誌」に分類した。

商業出版社から発行されている雑誌は通常「一般雑誌」としたが、独立した編集委員会が存在する場合は「論文誌」と見なした。この結果雑誌リストは表7のように分類できた。すなわち科学技術医学系においては論文誌、大学等論文誌、大学紀要がそれぞれ2,899誌、603誌、2,886誌で、そのうち英文誌数はそれぞれ、416誌、83誌、33誌であった。英文誌であるかどうかは、NDL-OPACの記載、および必要な場合その雑誌のホームページで確認した。

表6 雑誌種別と定義

雑誌種別	定義
論文誌	原著論文を主とする雑誌で主として学協会が発行するもの
大学等論文誌	原著論文を主とする雑誌で大学・研究所が発行するもの*
大学紀要	大学所属研究者の論文を掲載する雑誌
研究所紀要	研究所所属研究者の論文を掲載する雑誌
病院紀要	病院医師の症例・治療例等を掲載する雑誌
データ集	観測記録、データベースなど
会社技報	会社所属研究者の技術論文を掲載する雑誌
大会抄録・予稿集	学術大会の抄録・予稿集・論文集
一般雑誌	原著論文を含まない学術雑誌
ニュース・会報	学協会等の会員向け記事からなる雑誌
雑	報告書、白書、書籍シリーズ、別冊・特集号、書籍(単行本)など

* 科学技術系雑誌のみに定義

表7 雑誌の分野別、種類別の件数*

分野	雑誌数	種別	雑誌数		うち英文誌	
			全体	2005年発行	全体	2005年発行
人文・社会系	7,781	論文誌	1,437		26	
		大学紀要	4,156		59	
		その他合計**	2,188		18	
科学技術・医学系	12,768	論文誌	2,899	2,655	416	351
		大学等論文誌	603		83	
		大学紀要	2,886		33	
		その他合計**	6,380		88	
合計	20,549		20,549		723	

* 2005年に発行されていたもの

** 表6の「論文誌」、「大学等論文誌」、「大学紀要」以外のもの。

表8 雑誌種別の例

種別	ISSN	誌名	発行者
論文誌	0019-2341	照明学会誌	照明学会
大学等論文誌	0022-7226	金沢大学十全医学会雑誌	金沢大学医学部十全医学会
大学紀要	0072-4521	岐阜大学医学部紀要	岐阜大学医学部
研究所紀要	1349-1113	宇宙航空研究開発機構研究開発報告	宇宙航空研究開発機構
病院紀要	0287-4334	小倉記念病院紀要	小倉記念病院
データ集	1347-3093	物質・材料研究機構疲労データシート	物質・材料研究機構
会社技報	0372-0462	東芝レビュー	東芝
大会抄録・論文集	0288-5840	日本土壌肥科学会講演要旨集	日本土壌肥科学会
一般雑誌	0001-8724	神経研究の進歩	医学書院

また科学技術医学分野の雑誌種別の詳細は図1のようになった。論文誌・紀要以外のもの（「その他合計」）が多いのは、元となったデータベースのリストがこれらの資料を雑誌として含んでいたためである。各雑誌種別の雑誌の例を表8に示す。

上記2,899論文誌についてのみ、2005年に実際に発行されていたかどうか確認した。その数は2,655誌であり、うち英文誌は351誌であった。除かれた雑誌は主として2005年時点で廃刊となっていた雑誌である。以下の分析はこれら2,655誌を対象としている。

なお、これら英文論文誌351誌のうち、国内で発行されているものは227誌、海外出版社によって発行されているものは124誌であった。海外出版社から出版されている雑誌の出版社別の内訳は図2のようになる。

図2 海外出版社から発行されている英文誌の内訳（2005年）

覧は提供学会の購読方式によるが、無料閲覧できるものも多い。

(2)NII-ELS

国立情報学研究所が1997年にNACSIS-ELSとしてサービス開始した「電子図書館」サービスで、学会から入手した雑誌をスキャンによって電子化している。また大学の協力を得て大学紀要も電子化して掲載している。書誌・抄録データは学会の許諾を受けてGoogle Scholarに提供されている。本文は無料の場合もあるが有料の場合は登録が必要。

(3)メディカルオンライン

株式会社メテオが2000年から提供している医学雑誌の電子ジャーナルで、出版社から提供された雑誌をスキャンにより電子化して掲載している。本文閲覧はフリーアクセス（固定料金）方式と従量制がある。

(4)PierOnline

株式会社サンメディアが2005年から提供している医学・薬学出版社のための電子ジャーナル・ホストサービス。購読と一部売り（pay-per-view）の両方を提供。

(5)MedicalFinder

株式会社医学書院が2007年6月より提供している雑誌記事閲覧検索サービス。当初はMJ-Finderと

3. 電子ジャーナル化の状況

国内の主要な電子ジャーナル・サイトは表9のとおりである。また各電子ジャーナル・サイトの特徴は以下のとおりである。

(1)J-STAGE

1999年にサービスが開始された、科学技術分野の電子ジャーナル・サイトで、参加学会が自分で書誌データや公開用のPDFを作成して掲載する。PubMed, ChemPort, CrossRefなどと相互リンクしており、Google Scholarからもリンクされている。閲

表9 国内の主要な電子ジャーナルサイト

名称	提供者	URL
J-STAGE	独立行政法人 科学技術振興機構 (JST)	http://www.jstage.jst.go.jp/
NII-ELS	国立情報学研究所 (NII)	http://ci.nii.ac.jp/journal/society/all.jp.html
メディカルオンライン	株式会社メテオ	http://www.meteo-intergate.com/
PierOnline	株式会社サンメディア	https://www.pier-online.jp/
MedicalFinder	株式会社医学書院	http://ej.islib.jp/ejournal/

図3 国内3サイトの全雑誌（839誌）の重複状況

図4 国内3サイトの和文誌／和英混載誌（681誌）の重複状況

図5 国内3サイトの英文誌（158誌）の重複状況

表10 国内および海外電子ジャーナルサイトの登載雑誌数

	雑誌リスト掲載数	科学技術医学分野	論文誌	論文誌（除大学発行）	2005年時点発行中論文誌		
					合計	和文誌・混載誌	英文誌
NII-ELS	5,559	2,915	733	473	350	285	65
J-STAGE	380	370	364	343	328	214	114
MedOnline	565	556	380	345	336	304	32
国内計*					839	681	158
海外出版社	147	143	138	136	125	1	124
電子ジャーナル総数*					949	682	267
論文誌総数					2,655	2,304	351
電子ジャーナルの割合(%)					35.7	29.6	76.1

* ISSN等により、重複を除いた数

図6 電子ジャーナルの国内サイトと海外サイトの登載数の分布（全雑誌）

図7 電子ジャーナルの国内サイトと海外サイトの登載数の分布（和文・混載誌）

図8 電子ジャーナルの国内サイトと海外サイトの登載数の分布（英文誌）

称していたが、2008年6月よりこの名称となった。一部売り (pay-per-view)。

この分析では、各種データのそろっている2005年時点について比較することとした。PierOnlineとMedicalFinderは2005年時点では本格的なサービスは行っていなかったため、以下の分析には含めなかった。この他にも学会独自に電子ジャーナルとして公開している雑誌もあるが、今回の調査には含めていない。2005年時点で発行されている論文誌（大学等発行を除いたもの）は2,899誌中2,655誌であった。

J-STAGE、NII-ELS、メディカルオンラインの3サイトと海外電子ジャーナルサイトの日本発行の雑誌数は表10のとおりであった。また比較のため日本の学協会発行誌等で海外出版社から発行されている雑誌の数も示した。ここで「論文誌」は大学・研究所等が発行している論文誌を除いた、主として学協会が発行している論文誌を指している。また「英文誌」とはすべての論文が英文であるもの

を指し、例えば隔号で英文誌が発行されるようなもの（Journal of Mammalian Ova Researchなど）は混載誌とした。

「現在発行中」とは2005年時点に発行されており、かつ各サイトに収録されている雑誌のことであり、それより前に廃刊・休刊となったり誌名が変更されたもの、あるいはその後にサイトに追加され、または新規に発行された雑誌は含まれていない。発行期間の確認は主として前記NDL-OPACによって行った。

筆者の口頭発表¹⁶⁾においては大学発行の雑誌を除いていなかったため、NII-ELSの登載誌数が飛び抜けて大きかったが、これを除いたことにより、各サイトの登載誌数はほぼ同等となった。

すなわち2005年時点で発行されていた論文誌2,655誌の35.7% (949誌) が電子化されて提供されていることになるが、英文誌については76.1%と高く、かなりのものがすでに電子化されていることがわかった。しかし和文誌については電子化率はまだまだ低い (29.6%)。

また、国内3サイトについて雑誌の重複状況は図3のようになった。

これら3サイトに共通して登載されていた雑誌は表11のとおりである。

これらにより、各雑誌の重複状況はあまり大きくなく、それぞれ独自の雑誌を登載していると考えられる。和文誌・混載誌についてはメディカルオンライン、NII-ELS、J-STAGEの順に登載誌が多く、英文誌についてはこの逆の順となっている。

電子ジャーナルについて国内サイトと海外サイトの収録の分布を見たのが図6-8である。

このように、和文・混載誌は海外サイトにはほとんど登載されていないが、英文誌については国内サイトへの登載がやや上回っているものの、かなりの英文誌が海外出版社から発行されていることがわかる。

表11 電子ジャーナル3サイトに共通して登載されていた雑誌

ISSN	雑誌名	出版者名
0009-2363	Chemical & Pharmaceutical Bulletin	Pharmaceutical Society of Japan
0031-6903	薬学雑誌	日本薬学会
0034-351X	リハビリテーション医学	日本リハビリテーション医学会
0368-5829	杏林医学会雑誌	杏林医学会
0385-0110	日本歯周病学会会誌	日本歯周病学会
0385-5481	行動計量学	日本行動計量学会
0385-7417	Behaviormetrika	日本行動計量学会
0449-3060	Journal of Radiation Research	Japan Radiation Research Society
0470-8105	Neurologia Medico-Chirurgica	日本脳神経外科学会
0910-0865	環境変異原研究	日本環境変異原学会
0914-5508	脳卒中の外科	日本脳卒中の外科学会
0918-5739	Clinical Pediatric Endocrinology	日本小児内分泌学会
0918-6158	Biological & Pharmaceutical Bulletin	Pharmaceutical Society of Japan
1341-0725	産業衛生学雑誌	日本産業衛生学会
1341-9145	Journal of Occupational Health	Japan Society for Occupational Health
1342-078X	Environmental Health and Preventive Medicine	日本衛生学会
1343-2826	Kitakanto Medical Journal	北関東医学会
1344-9702	Journal of Health Science	日本薬学会
1345-3475	Journal of Physiological Anthropology and Applied Human Science	日本生理人類学会
1348-589X	Journal of Pesticide Science	日本農薬学会
1348-9615	日本再生歯科医学会誌	日本再生歯科医学会
1348-9623	Journal of Oral Tissue Engineering	日本再生歯科医学会
1349-0079	Journal of Oral Biosciences	歯科基礎医学会

参考文献

- 1) 倉田敬子. 学術情報流通とオープンアクセス. 勁草書房. 2007, p.55-57.
- 2) Tenopir, Carol. Online Databases—Online Scholarly Journals: How Many? Library Journal. 2004-02-01.
<http://www.libraryjournal.com/article/CA374956.html>, (accessed 2008-03-05).
- 3) Ulrich's Serials Analysis System. <http://www.ulrichsweb.com/ulrichsweb/usasfaq.asp>, (accessed 2008-03-04).
- 4) Mark Ware Consulting Ltd. "Scientific publishing in transition: an overview of current developments". September 2006, 30p. <http://www.alpsp.org/ForceDownload.asp?id=127>, (accessed 2008-03-04).
- 5) 時実象一. 中国における電子ジャーナルの現状. 情報管理. 2007, vol.50, no.1, p.2-10.
- 6) 国立国会図書館. NDL-OPAC: 検索できる資料.
http://opac.ndl.go.jp/Process?MODE_10260001&LS=7128013138#about, (参照2008-03-04).
- 7) 国立国会図書館. 日本科学技術逐次刊行物総覧.
http://refsys.ndl.go.jp/E001_EP01.nsf/Public?OpenFrameset, (参照2008-03-04).
- 8) 上田修一, 出羽美子, 倉田敬子. 海外主要データベースにおけるわが国科学技術雑誌の収録状況. ドキュメンテーション研究, 1983, vol.33, no.9, p.421-430.
- 9) Ikushima, K.; Tenopir, C. Availability of Japanese scientific and technical periodicals in major english language databases. Proceedings of the Ninth National Online Meeting. 1988, p.115-122.
- 10) 原田郁子. JST収集・収録誌と海外主要データベース収録誌との比較. 情報管理. 2004, vol.47, no.2, p.96-101.
- 11) 殿崎正明. PubMedに収録されている日本の雑誌: 最近3年間の調査分析. オンライン検索. 2006, vol.27, no.2, p.95-105.
- 12) Jacso, Peter. Analyzing the journal coverage of abstracting/indexing databases at variable aggregate and analytic levels. Library and Information Science Research. 1998, vol.20, no.2, p.133-151.
- 13) Gluck, Myke. A Review of Journal Coverage Overlap with an Extension to the Definition of Overlap. Journal of the American Society for Information Science. 1999, vol.41, no.1, p.43-60.
- 14) VanLeeuwen, Thed N.; Moed, Henk F.; Tijssen, Robert J. W.; Visser, Martijn S.; VanRaen, Anthony F. J. Language biases in the coverage Science Citation Index and its consequences for international comparisons of research performance. Scientometrics. 2001, vol.51, no.1, p.335-346.
- 15) Moya-Anegon, Felix De; Chinchilla-Rodriguez, Zaida; Vargas-Quesada, Benjamin; Corera-Alvarez, Elena; Munoz-Fernandez, Francisco Jose; Gonzalez-Molina, Antonio; Herrero-Solana, Victor. Coverage analysis of Scopus: A journal metric approach. Scientometrics. 2007, vol.73, no.1, p.53-78.
- 16) 時実象一. 日本発行雑誌の各種科学技術医学データベースへの収録状況. 第3回情報プロフェッショナルシンポジウム予稿集. 2006, p.75-78, http://www.jstage.jst.go.jp/article/infopro/2006/0/75/_pdf/-char/ja/, (参照2008-03-04).
- 17) 国立国会図書館. NDL-OPAC. <http://opac.ndl.go.jp/>, (参照2008-03-04).
- 18) 国立情報学研究所. NACSIS Webcat. <http://webcat.nii.ac.jp/>, (参照2008-03-04).

著者抄録

各種雑誌リストを用いて日本で発行されている科学技術医学系雑誌の数を調査したところ，論文誌2,899誌，大学等論文誌603誌，大学紀要2,886誌であった。うち英文誌はそれぞれ416誌，83誌，33誌であった。論文誌のうち2005年に実際に発行されていたもの2,655誌のうち949誌（35.7%）が何らかの形でオンライン化されていた。またそのうちの英文誌は351誌で，うち267誌（76.1%）がオンライン化されていた。主な電子ジャーナルサイトNII-ELS，J-STAGE，メディカルオンラインの収録誌を比較した。

キーワード

学術雑誌，電子ジャーナル，論文誌，英文誌，NII-ELS，J-STAGE，メディカルオンライン

Author Abstract

The number of scholarly journals published in Japan in the fields of science, technology and medicine was determined using various journal lists. There were 2,899 scholarly journals, 603 university journals, and 2,886 university bulletins published in Japan. Specifically 2,655 scholarly journals were actively published in 2005, including 351 English-language journals. Among them, 949 journal titles were already online, including 267 English-language journals.

Key words

scholarly journals, electronic journals, peer-reviewed journals, English-language journals, NII-ELS, J-STAGE, Medical Online